

会 議 録

1 会議名

令和2年度第3回上越市社会教育委員・上越市立公民館運営審議会委員会議

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 令和2年度事業実施状況報告について（公開）

(2) 令和3年度事業計画・予算案について（公開）

(3) その他

3 開催日時

令和3年3月5日（金）午前10時～11時30分

4 開催場所

上越市教育プラザ 研修棟 大会議室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

・委員：秋山美智代、池田洋子、江村奈緒美、小林榮、小林英子、惣塚泰次、杉原幸男、鈴木重行、高橋清美、土屋美枝、保坂和彦、松井和代、宮澤忠明、森田浩、渡邊恵美

・事務局：小嶋栄子社会教育課長、宮崎英紀参事、岩野俊彦中央公民館長、福山亮副課長、加藤英樹副課長、山崎光隆青少年健全育成センター所長、古川学係長、谷川正恵係長、北川智恵主任

8 発言の内容（要旨）

(1) 開会

(2) 保坂委員長挨拶

(3) 議事

① 令和2年度事業実施状況報告について

— 資料No.1～2に基づき事務局説明 —

松井委員：若者育成支援活動について、主任児童委員に対して周知等はどう行っているのか。連携は図られているのか。

事務局：民生委員・児童委員のブロック研修会の際に説明させていただいた。また、3月19日に主任児童委員の研修会があるので、若者の居場所（Fit）を含め説明をさせていただく予定である。

松井委員：ブロック研修会で初めて若者の居場所（Fit）について知った主任児童委員もいたようなので、もっとPRしたほうがいいと思う。

江村委員：公民館講座でオンラインおためし講座を実施したとのことだが、具体的にはどんなことをしたのか。

事務局：名立地区公民館でオンライン会議の方法などを学ぶズーム体験教室を開催した。このほか、日常生活で電子機器を使う機会が増えてきていることから、津有地区公民館でスマートフォンの使い方講座を実施し、使用上のルールやモラル、LINEの使い方を学び、参加者同士の仲間づくりにもつながった。令和3年度もオンラインやスマートフォンなどに関する講座実施に取り組んでいく。

江村委員：画家の村山陽先生がお亡くなりになったが、市として追悼展のようなものを開催する予定はないのか。

事務局：現在のところ、そういった企画展などは計画していないが、市展では、引き続き市民の皆さんが芸術に触れる機会を提供していきたいと考えている。

小林(英)委員：子どもたちを対象に古典芸能の伝承活動に取り組んでいるが、継続して活用できる補助金がなかなかない。「子ども交流活動支援事業補助金」について、もっと広く周知してほしい。市の広報紙に掲載されているだけではなかなか浸透しないと思う。

事務局：「子ども交流活動支援事業補助金」について、対象団体は子ども会が多

いため、単位子ども会などへは毎年案内を送付している。この事業は継続的に使っていただける補助金であることから周知方法を今後検討していきたい。

惣塚委員：公民館主事の配置はどのようになっているか。コロナ禍においても、公民館活動が地区によるばらつきなく活発に行われるよう、公民館主事の資質向上に向け研修などは実施しているのか。

事務局：公民館主事は合併前上越市の15地区公民館と13区の地区公民館に各1人ずつ配置している。公民館主事を対象とした研修を毎年度2～3回開催し、公民館主事同士のディスカッションやグループワークなどを通じて情報交換や情報共有を図っている。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で1回のみとなったが、3月10日に開催予定である。

惣塚委員：公民館主事の皆さんには、貸館施設の受付業務だけでなく、積極的に公民館活動に取り組んでいただきたい。

② 令和3年度事業計画・予算案について

— 資料No.3～5に基づき事務局説明 —

池田委員：所属団体の活動でオーレンプラザを定期的に利用しているが、施設内のカフェが変わり、週の半分しか営業しておらず、利用できない団体もある。

事務局：これまで施設内のカフェスペースに出店いただいていた珈琲工房かさらはがコロナ禍の影響で出店を辞退されたため、出店者を新たに募集し、1月からイロハニ堂に出店いただいている。営業日は以前の珈琲工房かさらとほぼ変わらず、水・木・金・土曜日。日曜日もしイベントなどがあれば営業されている。感染症対策で席数は少ないが、今年の冬は南堀の白鳥を見に来た方などでにぎわっていた。

③ その他

杉原委員：社会教育は人と人との交流が基本だと思っているが、この1年、様々な制限があり、委員の皆さんの所属団体でも中止になった活動が多かった

と思う。皆さんの所属団体ではコロナ禍でどのような対策を行って活動をしているのかお聞きしたい。

松井委員：体操のよしお兄さんを招いてイベントを開催した。人数制限やソーシャルディスタンスの確保、除菌・消毒、あらゆる場面での非接触による対応など、想定されるリスクに対し可能な限り対策を講じた。サーモカメラの購入や、アンケート用のボールペンを持ち帰りにするなど費用はかかったが、参加者からは「今年度1番の思い出になった」「開催してくれてありがたかった」など、うれしい言葉をいただいた。コロナ禍でのイベント開催には努力が必要だと実感した。できる限りの対策は講じたが、市でガイドラインを示してもらえればありがたい。

池田委員：町内サロンの運営に関わっているが、非接触型の体温計など、必要物品については町内会に要望して購入してもらった。お金がかかる部分も、他に協力してもらえるものはお願いするなどして、感染対策を講じながら活動を継続させている。

事務局：公民館事業の実施に際し、コロナ感染対策のために作成した「事業企画用」と「当日用」の2種のチェックシートについては、全国公民館連合会のガイドラインに沿って作成しており、参考にさせていただきたい。また、市としてもイベント開催などの基準を設けており、市ホームページに掲載しているので参考にさせていただきたい。

(4) 閉会

9 問合せ先

上越市教育委員会社会教育課

TEL：025-545-9245（内線 1260）

E-mail：shakaikyouiku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。